

山形大学附属学校園だより 六 稜

2025. 3. 3

【発行】
山形大学附属学校園

【印刷】
坂部印刷株式会社



山形大学附属小学校 6学年 高橋 怜音
「わくわくの音が響く音楽室」

附属四学校園の 連携・接続の強化



附属学校運営部長
三浦 登志一

附属学校園のPTA及び同窓会、翠稜会の皆様には、日頃から格別のご支援とご協力をいただき、あらためて御礼申し上げます。長期にわたったコロナ禍の後、どのような教育活動を展開していくべきかについて、それぞれの学校園の模案が始まっています。大きな混乱もなく新たなスタートを切ることができたのも、各校園の教育活動に対する皆様のご理解とご協力があったからこそものと感謝いたしております。

山形大学附属学校園は、令和六年度から「山形大学附属学校園コミュニティ・スクール」を導入しました。子どもたちの成長を考えた時、各学校教育段階での教育の充実を図ることは当然のことながら、異なる学校間での連携・接続を進めていくことが大切です。現代の教育課題の一つであるインクルーシブ教育を推進するためにも、特別支援学校と幼稚園・小学校・中学校との連携について研究を深めることが必要になります。そして、その成果を承けて、附属学校園に通う全ての子どもにとつての望ましい教育を実現することが求められていると考えています。幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の四校園で構成されている山形大学の附属学校園は、そうした教育活動を追究することができる理想的な環境にあります。また、「地域」との関わりも重要です。附属学校園が社会の状況に応じた柔軟な教育活動を展開する上で大切なのは子どもたちと地域社会や地域の人々との関わりを充実させていくことだと言えます。そして、次代を担う社会人となるように子どもたちを育てていかなければなりません。そのためには各々学校園に関わる方々の考えに耳を傾け、理解を得ていくことが必要不可欠なことだと考えています。

このような目的を持つコミュニティ・スクール構想を展開していくための第一歩として、「学校運営協議会」を設置し、附属学校運営部と附属学校園の学校経営に対して意見をいただいております。学校運営協議会の委員の皆様からの意見を踏まえながら山形大学附属学校園の教育活動の充実・発展を達成していきたいと考えています。これからは、附属学校園が「地域」に関わっていくことが、各校園の教育をよりよいものとし、「地域づくり」を進めるためにも重要になってくると考えています。

これまで以上にPTA及び同窓会、翠稜会の皆様のご協力を仰ぐことが多くなると思いますが、ご理解・ご協力いただければ幸いです。



駐車場ライン引き(特PTA)



PTA研修会(中PTA)

日頃よりPTA活動に對しまして御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。子供たちに「思いやりをもって」と願い、教えるのと同じように私たちも思いやりを大切に、できる時にできることをする、そして、子供たちがたくましく成長できるよう先生や役員、保護者の皆様と活動をしてきました。

今年度、どうしてもやりたいことがありました。それは、学校内にある駐車場のライン引きです。前々から保護者間でも多くの方が駐車場のラインが薄くなっているの気にしてくださっていました。学校施設ということもあり、PTAで立ち入っているものかと校長先生に相談すると受け入れて貰え、昨年の六月一日土曜日、実現に至りました。計画当初は、一割位の保護者が集まればと思っておりましたが結果的に七割位の保護者が集まり協力してくれました。駐車場のラインがはつきりきれいになったこともよかったのですが、それより御協力くださった保護者の方がこれほど多くいたことが心強く思え、今年度安心してPTA活動に取り組むことが出来ました。御協力ありがとうございました。

いろいろな保護者との繋がりがもてるというのもPTA活動の魅力だと思います。今後もPTA活動を円滑に進めていくために、思いやりをもって、できる時にできることをするという思いでPTA活動に御協力をしていければと思います。来年度は、更に充実したPTA活動ができることを期待しております。教職員の皆様、保護者の皆様、一年間本当にありがとうございました。

感謝

附属特別支援学校PTA会長 伊藤 靖典

PTA活動報告と御礼

附属中学校PTA会長 吉村 和武

日頃より、本校PTA活動に對しまして御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの五類移行により、子ども達の学校生活は以前の姿を取り戻しつつありますが、部活動の地域移行や先生方の働き方改革もありPTAも環境の変化に対応しながら子ども達をサポートしていかなければいけないと実感しております。今年度も総務部、体育部、広報部、母親委員会とそれぞれの役割をしっかりと果たしていただき、円滑にPTA活動を実施することができました。母親委員会では制服リユースを販売会から無料おゆずり会に変更して実施し、好評であったとお聞きしております。

また、全附P連の全国絵画コンクールの主管校にあたる本年は、附属小、幼稚園、特別支援校と連携し、コンクールの審査・運営を行い大成功をおさめました。お手伝いいただいた学級委員・総務部・関係者の方々に御礼申し上げます。

結びに、今後も公立高校の受験の変化やデジタル化の更なる推進等、生徒達を取り巻く環境は変化していくと存じますが、子供たちが安全・安心して学校生活を送れるよう皆様方からの変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



交流及び共同学習(幼・特)

交流及び共同学習(小・特)



交流及び共同学習(中・特)



保護者奉仕作業(小PTA)



親子行事(幼PTA)

PTA活動

PTA活動のご報告

附属幼稚園PTA会長 細江 大樹

保護者の皆様には、PTA活動にご理解とご協力を賜り、また、教職員の皆様には、日々ご指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、二〇二四年度は、PTA活動が徐々にコロナ禍前の姿を取り戻し始めた年でありました。六月の「ふようの集い」では、「子育てに活かすアンガーマネジメント」をテーマとした講演会を開催し、十月の親子行事では、山形市少年自然の家でフィールドアスレチックを体験する等、学びと交流、座学と運動の両面で充実したPTA活動ができたと感じております。

また、本年度は、十月の絵画コンクール、二月の東北地区会長会と、全国国立大学附属学校PTA連合会の行事において、山形大学が主管校となった年度でもありました。皆様のご協力により、円滑な準備・運営を行うことができ、絵画コンクールでは山形から多数の受賞者を輩出することができました。

園庭の大型遊具の更新に向けた寄付の募集等、残された課題もございますが、引き続きご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

持続可能なPTA活動に向けて

附属小学校PTA会長 長岡 伸賢

日頃より本校PTA活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和六年度は、社会活動がコロナ禍前の状態へ戻りつつあるのに並行して、本校のPTA活動についても通常ベースへ回帰いたしました。大変喜ばしいことではありますが、一方でコロナ禍の三年間を経て、保護者の皆さまのPTA活動に対する意識の変化を感じております。PTA総会の挨拶において「少ない負担で最大の効果を発揮していきましょう」と申し上げ、持続可能なPTA活動に取り組んで参りました。限られた人員・時間のなかで、各分会がそれぞれの役割をしっかりと果たしていただきましたことに対し、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

また、今年度は十月に「全附P連絵画コンクール」運営というビッグイベントがありました。全国の附属学校園より一六〇五作品もの応募があり、六十の入賞作品を選びました。四校園PTAと先生方が一年前から準備を積み重ね、のべ一〇〇名以上の方よりお手伝いいただき、無事に大成功をおさめられたのも、山形大学附属学校園関係者の皆さまの素晴らしい連携があったことと考えております。

今後も、持続可能なPTA活動を模索しながら運営してまいりたいと思っております。保護者の皆さまには引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



中学校授業参観(小・中)



交流活動(幼・小)

家庭科交流(幼・中)

交流学习の様子

「授業」「合唱」「奉仕の心」を大切にする伝統を引き継ぎながらも、授業や行事、生徒会活動等の意義や必要性を改めて見直し、教育活動を行ってきました。

市中総体では、剣道部、陸上部が上位入賞し、県大会・東北大会へ出場しました。陸上部は、全国標準記録を突破し福井県で行われた全国大会にも出場しました。市中新人大会では、剣道部、陸上部が入賞し、上位大会に出場しました。運動会は、熱中症対策も考慮し、山形市スポーツセンター体育館で開催しました。室内での開催ということもあり、実行委員会で運営や競技について検討を重ねて実施しました。合唱コンクールでは、全校生が伝統の一つでもある美しい合唱をテルサホールに響かせました。

5月には学習指導研究協議会を実施し、県内外400名以上の方に参加していただき、学びを深めました。

今後も、保護者をはじめ、多くの方々のご協力とご理解を得ながら、生徒一人一人の育成に邁進してまいります。

研究テーマ「生徒が『学びの主体』となる授業の共創」

主な行事と日程

- 4月7日 入学式
- 4月26日 授業参観、PTA総会、学年保護者会
- 5月15日 開校記念式典
- 5月23・24日 学習指導研究協議会
- 7月5日 運動会
- 7月26日 授業参観、学年保護者会
- 11月5日 合唱コンクール
- 12月7日 授業参観、PTA研修会、学年保護者会
- 2月7日 制服等おゆずり会



今年度の附属中学校

「たくさんのやりたいをかなえるようちえん」を合言葉に教職員が一致団結して、子どもたちの遊びの充実に向けて取り組んでいます。6月に開催した「遊びと学びフォーラム」には、約150名の方々にご参加いただき、子どもの見取りや保育者の援助について好評をいただきました。本園の環境構成や保育の質の高さが評価され、「美育文化ポケット」(造形関係の定期本)に本園の実践と子どもたちが自ら創造的に遊びをつくり出す姿が掲載されました。

創立120周年記念事業の一つの新遊具設置に向けての取り組みも進めています。「子どもが自ら遊びをつくりだし、豊かな創造性を育む遊び場」をコンセプトに山形大学工学部の学生のアイデアを取り入れながら検討を重ねているところです。

また、今年度より預かり保育「つくし組」を実施し、入園希望者の中を広げることができました。

大学との連携においては、「オペレッタ」、「ピクニックコンサート」、「食に関わる指導と手作りおやつ提供」、「ワクワクサイエンス」など、年間を通じて展開することができました。この活動が教員をめざす学生にとって貴重な経験となっていました。引き続き、本園教育に対するご理解とご協力をお願いいたします。

研究テーマ「遊びがうまれる環境構成」

主な行事と日程

- 4月24日 保育参加・PTA総会
- 6月6日 遊びと学びフォーラム
- 10月12日 運動会
- 10月30日 研究協議会Ⅱ
- 11月5日 園外保育(近隣公園、千歳山)
- 12月4・11・18日 ステージフィスティブアル



今年度の附属幼稚園

創立50周年を迎えた今年度は、50周年記念式・記念コンサートを始め、ふれあい運動会、ふれあい発表会など学校全体で50周年を祝う行事を進めてきました。山形大学の音楽専攻の学生による記念コンサートでは、美しい音色、楽しい音楽に笑顔いっぱいの子供たちの姿がありました。

運動会は小学部から高等部の縦割り3チームで勝利を目指しました。保護者の皆様のたくさんの声援の中、各学部とも仲間と一緒に一生懸命競技に取り組む様子、大きな声で仲間を応援する様子が見られ、心と心が触れ合う温かい運動会となりました。

学校研究では新たな主題のもとにスタートしました。「自立活動の個別の指導計画を活用した各教科等の指導」をサブテーマに、2月に開催した学習指導研究協議会にはオンラインでの参加も含め、北海道から沖縄まで200名以上の方に参加をいただき、知的障がい教育における各教科等の指導について学びを深めました。

来年度も今年度の成果を十分に引き継ぎながら児童生徒の育成に取り組んでまいります。引き続き、本校教育に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

研究テーマ「児童生徒が自分と学びをつなぎ、よりよい自分へ向かう授業づくり」

(1年次/3年計画)

主な行事と日程

- 4月27日 PTA総会
- 5月10日 50周年記念式・記念コンサート
- 6月1日 PTA駐車場ライン引き
- 7月3日 PTA研修会
- 10月29日 ふれあい運動会
- 11月6日 PTA研修会(施設見学)
- 12月5日 ふれあい発表会
- 2月10日 学習指導研究協議会



今年度の附属特別支援学校

子どもたちは、「一人一人のよさを大切にし、チャレンジしながら笑顔を咲かせ、ドキドキ・わくわくをあふれさせよう」を大テーマに掲げ、みのに班活動に代表される異学年での学びを充実させることができました。

みのりスポーツフェスティバルでは、さわやかな秋空のもと、全校児童がグラウンドに集まり、学年部の競技やみのり班対抗長縄跳びに精一杯取り組みました。最後の最後まで、どの組が優勝するのかわからない展開に、保護者の皆様からも心温まる応援をたくさんいただくことができました。

研究では、各教科において子どもたちが見方・考え方を働かせて(鍛えて)問題解決を進める姿をめざし、春と秋に研究協議会を実施しました。

研究テーマ「自ら問題解決を進める子ども」

(3年次)

主な行事と日程

- 4月27日 PTA総会
- 5月17日 開校記念式
- 5月25日 PTA奉仕作業
- 6月7日 学習指導研究協議会
- 6月27日 みのり遠足
- 10月3日 みのりスポーツフェスティバル
- 10月27日 全附連PTA絵画コンクール審査会(本校会場)
- 10月29日 みのり登山
- 11月16日 PTA奉仕作業
- 11月29日 秋の研究協議会
- 3月4日 6年生を送る集会



今年度の附属小学校

編集委員
阿部美和子(幼)
三浦 萌乃(幼)
三浦 三奈(小)
安田 美香(小)
福井 雅子(中)
清水亜希子(中)
工藤 陽介(特)
犬飼 千恵(特)
丹野 愛香(特)

最後にありますが、大学附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様に感謝申し上げます。編集後記といたします。

編集後記

長期にわたったコロナ後、ようやく従来のPTA活動や学校の諸活動が戻った一年となつたようです。

原稿を拝読すると、四校園それぞれ充実したPTA活動が展開されたことがわかり大変うれしく思います。

今年度、特筆すべきことは、四校園のPTAが協力して行うイベントが多かったことでしよう。なかでも、全附連PTA絵画コンクールを成功裡に終えることができたのは、山形大学附属四校園のPTAの団結力の賜物といえるでしょう。

来年度以降も、幼児児童生徒の学びや各校園のPTA活動がさらに充実してなされるよう、心から願っております。